



清水金左衛門本陣跡
小田原宿筆頭の清水金左衛門本陣があった場所。敷地は約240坪で、大名、宮家などの宿泊に利用された。後に、明治天皇も宿泊。



小田原宿なわい交流館・宮ノ前町周辺
昭和7年建設の旧網問屋を再整備し、市民や観光客の憩いの場として開館。江戸時代の古地図などの展示もあり、現在の小田原の街並との比較ができる。
☎0465-20-0515 神奈川県小田原市本町3-6-23
☎10時～18時(4月～10月は19時まで)
◎無休(臨時休業あり) 入場無料



松原神社
創建は不明。後醍醐天皇の頃、真鶴が棲んだことから、「鶴の森明神」と称した。北条氏が小田原を治めるに至って社領を寄進するなど、代々崇敬。小田原宿の総鎮守に。小田原海岸に現われた大亀を北条氏康が吉兆として参詣したことから、境内には石亀像もある。

屋上から市街地を一望



脇本陣清水旅館 資料館
小田原宿の本陣、脇本陣をつとめ、明治時代は伝統ある老舗旅館として客をもてなしたが、昭和20(1945)年8月15日未明、最後の空襲で灰燼に帰す。平成10(1998)年に高齢者賃貸マンション「プラージュ古清水」となった現在の建物の2階が資料館で、往時の宿帳や漆器類などのほか、山県有朋が伊藤博文に宛てた手紙なども展示。訪問前にお電話を(090-1538-4589/清水)。



酒匂橋周辺
江戸時代、小田原を流れる酒匂川に橋はなく、人足で渡っていた。雨などによる増水で水深が胸あたりになると、川留めになることもあり、旅人にとっての難所であった。



江戸口見附・一里塚
小田原城は町全体、堀や土塁で囲っていたが、東海道を通す際、これを壊して崩形門を設けた。日本橋から4kmごとに設けられた、20番目の一里塚があった場所でもある。



小田原宿

東西に難所を控える多くの旅人が滞在
東に酒匂川の徒歩渡り、西に箱根越えが控える小田原は、宿泊者が多く、90の旅籠、4つの本陣を誇る宿場町。そのため、かまぼこや小田原提灯などの名物が広く知れ渡り、江戸期から続く老舗も多く残る。城下町内に宿場の機能をもち特有の町割れ、町屋は東海道に連なり、宿は東西約2.2km、南北約990mに集中していたという。街道にある江戸期の町名碑を頼りに巡りたい。

かまぼこ通り

小田原かまぼこ発祥の地で、かまぼこ店の本店が連なる通り。かつて魚市場だった場所でもあり、干物や露節を商う店、海鮮料理の店も。

かまぼこ伝統館(丸う田代内)

老舗かまぼこ店、「丸う田代」の店内では、昔のかまぼこ作りの器具や資料を展示。手作りの様子をビデオで見ることできる。



おみやげ

丸う田代
☎0465-22-9221
神奈川県小田原市浜町3-6-13
☎8時～19時 ◎無休
明治元年創業から受け継がれてきた伝統の製法で作る。魚の旨みが凝縮され、味わい深い。
小田原蒲鉾 上小板
各930円+税



第6回 東海道五十三次を往く

ミスモ編集部が巡るプロジェクト。今回は、日本橋から約80km、東海道有数の規模を誇ったという小田原宿を辿りました。

東京・日本橋〜京都・三条大橋

創刊15周年記念連載

次ページへ続く!

小田原城

前身は、室町時代に西相模一帯を支配した大森氏の山城。戦国時代には小田原北条氏の本拠地となり、江戸時代に大久保氏によって、関東地方の防衛の要に。平成28(2016)年、天守閣の耐震改修工事、展示の大規模リニューアルが行われた。



食

明治26年の創業。国の登録有形文化財になっている重厚な建物で、胡麻油100%で作る名物の天井や海鮮料理がいただける。天重セット(お椀・香の物付)2,500円+税。

だるま料理店
☎0465-22-4128
神奈川県小田原市本町2-1-30
☎11時～21時(L.O.20時)
◎無休



小田原宿周辺のおすすめスポット

MAPは5面



国指定登録有形文化財のれんと味 **だるま料理店**
歴史ある建物で小田原の地魚を堪能

毎朝市場から直送される新鮮な地魚を使った定食や名物の天ぷら料理が並ぶ中、舌の肥えた地元客も大鼓判を押すのが「あじすし」。栄養豊富な小田原近海でとれたアジは、脂ノリがよく肉厚で、薬味やシャリとのバランスも絶妙だ。数量限定の人気メニューなので、早めに訪れたい。



☎0465-22-4128
神奈川県小田原市本町2-1-30
☎11時～21時(L.O.20時)
◎無休 ◎あり
JR-小田原線小田原駅から徒歩8分
http://www.darumanet.com/



小田原おでん「本店」・「茶室」
かまぼこ13店の特製おでん種が一堂に

昆布と鰹節から丁寧にとった薄味のダシで煮込むのは、「小田原すじ」「地あげ雑魚くわ」など、小田原の老舗かまぼこ13店によるおでん種。小田原流に梅みそを添えて味わいたい。牛すじ丼やあじ寿司のセットランチもおすすめ。古民家風の落ち着いた店内でゆったりと楽しんで。



☎0465-20-0320
神奈川県小田原市浜町3-11-30 ☎11時30分～14時/16時～21時、土・日・祝11時30分～21時、茶室12時～21時(前日までに要予約) ◎無休(月曜はランチのみ) JR-小田原線小田原駅から徒歩20分 http://odawara-oden.com



丸う田代本店
明治創業、老舗の味を誇るかまぼこ店

小田原を代表する老舗。二色卵をヒントに生まれた、大正10年からのロングセラー「君まき」や、最高級白身魚を伝統の技で練り上げた「超特選蒲鉾「富士」」など、こだわりの味がファンを魅了する。喫茶「花まるう」も併設し、買い物をする、ここで使える無料飲み物券をサービス。



☎0465-22-9221
神奈川県小田原市浜町3-6-13
☎8時～19時 ◎無休 ◎あり
JR-小田原線小田原駅から徒歩20分
http://www.maruo.com

海鮮グルメのテーマパーク 小田原早川漁村

小田原へ来たら 港へ行こう!

漁村のかきまつり 開催中

海鮮丼 **浜焼** **お土産** **しらす**

1F 漁師の浜焼「あぶりや」 ☎10時～22時
☎0465-24-7804
80分食べ放題 / ソフトドリンク飲み放題
一般3,000円 / 小学生1,700円 / 未就学児1,200円 / 3歳以下無料 / シニア65歳以上2,500円

1F 「旨いもの屋台」
☎平日:12時～16時 / 土日祝:10時～16時

1F お土産処「かね好」
☎10時～17時

2F 海鮮丼屋「海舟」
☎平日:11時～17時 / 土日祝:10時～17時

2F しらす専門店「漁港のしらす市場」
☎平日:11時～16時 / 土日祝:10時～16時

（小田原早川漁村）
☎0465-24-7800 / 小田原市早川1-9
☎10時～22時(店舗により異なる) ◎無休
■アクセス 小田原駅から徒歩5分 / JR東海道線早川駅から徒歩5分 / 箱根湯本駅から徒歩15分

（第二漁村） 予約可
☎0465-23-3360 / 小田原市早川1-11-2
☎平日10時～17時 / 土日祝10時～22時
◎無休
http://gyoson.com